

いまさら聞けないパソコン、スマホ、タブレット
パソコンの選び方
[2020/2/15]

山田康雄 yamadayasuojp@gmail.com

ブログ 禿山の一夜

🔍 検索

パソコンを購入するときのポイント

- 用途は？
- 新品か中古か？
- ノートかデスクトップか？
- どこで購入するか（家電量販店／ネット通販／メーカー直販）
- メーカー
- 予算
- CPU／メモリ／ディスク
- モニター
- Wi-Fi／LAN
- USB端子など
- Office(Word/Excel)、付属ソフト
- セキュリティソフト

用途は？

- 今日のお話は「特別なこと」をしない、ごく「一般的な使い方」をする人を想定します。
- 「一般的な使い方」とは
 - ブラウザでネット利用（検索、閲覧、地図、ショッピング・・・）
 - メール、ワード、エクセル、年賀状など一般的なソフト利用
 - ネット動画(YouTubeなど)、DVD/BDなどの再生
 - 軽いゲーム（ソリティア、上海、パズル系、囲碁・将棋など）
- 「特別なこと」とは
 - 取り込んだ写真のレタッチ
 - 撮影したビデオの編集
 - グラフィックを駆使したゲーム
- ほとんどの方は「一般的な使い方」しかしないと思われれます。
- ➡「一般的な使い方」での使用を、より快適に安く手に入れるためのポイントを見ていきます。

新品か中古か？

- 基本は「新品」を購入
 - パソコン技術の移り変わりは速い
 - 欲しい時に最新のものを買えば最もコストパフォーマンスが高い
 - 中古と新品の価格差はわずか
- 「中古PC」のリスク
 - スペックが昔のもので性能が低い場合が多い
(例えば同じ Core i5 というCPUでも数年前のものと現在のものでは倍くらいの性能差があります)
 - HDDや液晶モニターなどが経年劣化している恐れがある
(パソコンで一番故障しやすいのがHDDとモニターです。古いものは早く故障するリスクが高い)
- ➡よほど理由がなければ新品を購入しましょう

ノートかデスクトップか？

- 現在はほとんどの人がノートを選んでいきます。
 - 持ち運びができる（コタツでパソコンができる）
 - 小さく薄いので場所を取らない
- デスクトップを選んだ方がよい場合
 - 大きなモニターでPC作業したい（見やすく大きな文字で広い画面で作業性が向上します）（ただしノートにモニタを接続することも可能です）
 - 性能の高いPCが必須（複雑な計算をさせるなど）
 - 「用途」で話した「特別なこと」（写真や動画編集など）を行いたい
 - デスクなど専用の場所でしかPCを使わない
 - ずっと電源をいれっぱなしで使う用途（株やFXの自動取引など）
- 同じ名前のCPUでも性能が違います
 - 同じ Core i5でもノートに搭載されているものは末尾に「U」がついています。これは省電力を重視した製品で処理能力を犠牲にしています。
- ➡**こだわりがなければノートで問題ありません**



どこで購入するか（家電量販店／ネット通販／メーカー直販）

- 家電量販店

- 見附市ではノジマデンキやヤマダ電機など
- たまたま在庫がある中から店員が勧めるものを買いがち
- 困った時に教えてもらえる？



- ネット通販

- 自分でほしい製品を選択した後で、条件の良い通販ショップで購入することができる
- 安い










- メーカー／ショップ直販

- ネット通販と同様
- BTO（自分で構成を選択できる）で必要な性能のPCを作り上げられる



- ➡自分の欲しい性能、価格のPCがわかったら、購入するところはネット上で比較して安く安心して購入する、というのがお勧め。

メーカー

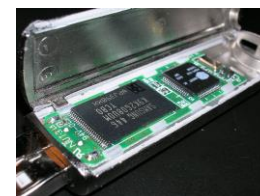
- 昔は国産製品が安心と言われていましたが、現在は純国産のPCは数えるほど。   
- DELL、HP、Lenovoなど海外メーカー、中国製など壊れやすい、という話を聞くことがありますが、国産でも壊れるときは壊れる。あまり気にしない方が良い。   
- NEC、富士通、東芝などはマニュアルやサポート窓口がしっかりしているので、そこを気にする場合はよいメーカー。
- マウスコンピュータ、EPSON Direct、パソコン工房、ドスパラなど、準大手やショップ系などはそれぞれ特徴があり、一度は検討するとよい 
- ➡デザインなどこだわりがある場合を除き、あまりメーカーにはこだわらなくてかまわない。それより良い性能のパソコンをリーズナブルに手に入れることを優先する。

予算

- 以下を一応の基準と認識しましょう
- 最低ラインは5~7万円くらい
 - 5万円以下のものは画面が小型でCPU性能も抑えたモバイル型が多い
- 性能的に満足ラインを守ると8~12万円くらいまで
 - 画面サイズは15インチ、CPUはCore i3、メモリ8MB
 - SSDは256GB（あるいはHDDが1TB）
- それ以上は、何か付加価値を付ける場合に該当します
 - CPUやメモリを高性能なものにする
 - SSDを大容量のものにする
 - 超軽量薄型スタイリッシュなノートPC
- ➡ごく一般的には8~12万円の価格帯のものを選べばOK
それより安かったり高かったりする場合は、その理由を理解できること。

CPU／メモリ／ディスク

- CPUはできればCore i3以上を選択します。Celeronでも通常の操作は十分行えますが、できるだけ長くPCを快適に利用するためにはCore iシリーズが安心です。
- メモリは現在であれば8GBがお勧めです。4GBでも十分ですが価格差を考えると8GBを選んで安心を手に入れましょう。
- ディスクはHDDとSSDがありますが、極力SSDを選択してください。使用感に天地ほどの差があり軽快になります。容量はSSDであれば256GB。余裕があれば512GBを選びます。
- 写真や動画を大量に保存したいという場合は、外部のHDDに保存した方が良いでしょう。常にPCと一緒に持ち運びたいという場合はSSDとHDDの両方を搭載するPCを選びます。
- ➡CPU:Core i3 メモリ:8GB SSD:256GB 以上を選びたい



光学ドライブ／メモリカード

- 以前のノートPCはCD/DVDドライブ（光学ドライブ）を内蔵していることが一般的でしたが、最近は薄型になった代わりに省かれることが多くなっています。
- 光学ドライブはソフトウェアをインストールしたり、CDやDVDを再生したり、あるいは作成したりする場合に必要になります。
- 必要でしたらUSB接続で簡単に外付け接続可能です。
- 通常はCD/DVDの読み書き可能なものが多いですが、ビデオレコーダーで録画したものを再生する場合などはBD対応にする必要があります。（価格は1万円以内です）
- デジカメやスマホとのデータやりとりを行うためにはSDカードスロットの有無もチェックします（たいていは対応しています）
- ➡光学ドライブは外付けでもよい。 SDカードをチェック。



モニター



この写真の作成者 不明な作成者は [CC BY-SA](#) の許可を許諾されています

- ノートPCの場合
 - 最もコストパフォーマンスが高いのは15インチです。
 - ノングレア（非光沢）とグレア（光沢）があります。
 - ノングレア：映り込みが少なく画面が見やすい（通常はこちらがおすすめ）
 - グレア：映り込みが大きいですが、映画などきれいな発色に見える
 - 解像度はHD(1,280×720)が最も普及していますが、フルHD(1,920×1,080)が画面にたくさんの情報を表示できます。
- デスクトップPC（外部モニタ）の場合
 - 21インチや24インチ、27インチなど、大型のものが主流（文字が大きく見やすい）
 - ほとんどがノングレア（非反射）タイプ
 - 解像度は最低フルHDを選択した方が良い。場合によっては4K(3,840×7,600)を30インチや40インチで使うということもできる。
- ➡ ノートの場合は15インチノングレア(HDまたはフルHD)
外部モニタの場合はより大型のものが見やすく目に優しい

Wi-Fi/LAN/Bluetooth

- ノートであればWi-Fiは必ず装備されている
 - 規格は「11ac」に対応していること(11b/g/a/nにも対応)
 - 11a/n/acは5GHzの電波を使用⇒電波干渉に強く安定（壁に弱い）
 - 11b/g/nは2.4GHzの電波を使用⇒電子レンジや無線子機なども使っており混みあっていることが多い
- デスクトップであればLANケーブルで有線接続もできる（高速で安定した通信ができるのでお勧め）
逆にWi-Fiは装備されていないことが多いので注意
- Bluetoothはスピーカー、イヤホン、マウス、キーボードなどを無線で接続する。必須とってよい。
- ➡Wi-Fiであれば11ac対応を確認。有線LAN端子も必須。
Bluetooth機能も搭載されていることを確認



USB端子など

- USB端子は必須です。端子数は多くて困ることはありません。
- USB2.0規格とUSB3.0規格
 - USB3.0の方が高速に伝送できますので、外部HDDやUSBメモリなどを使う時にデータコピーが高速にできます。最低1個はUSB3.0の端子がついていることを確認しましょう。
- 最近ではUSB Type-Cという端子が装備されていることが多くなってきました。USB3.0の一種ですが、上下を気にせずに差すことができます。ACアダプタをつないで電源を共有する用途にも使えます。ただType-Cのみ装備でUSB3.0や2.0の端子が装備されていない場合は使い勝手が悪くなるので要注意です。
- ➡USB端子は多くて困ることはない。最低USB3.0の端子が装備されていることを確認



Office(Word/Excel)

- そもそもMicrosoft Office(Word/Excel)が必要か考えましょう。
- PCバンドル版か自分で別途購入するか
 - バンドル版とは購入したPCでのみ使用できるライセンス
PCを買い替えたならOfficeも買い替える必要がある
 - Office Personal(Word/Excel/Outlook)2019 ➡ 19,000円
 - 別途購入した場合はPCを買い替えてもインストールしなおして永続的に使用できるライセンス。（自分のPCであれば最大2台までインストールできる）
 - Office Personal(Word/Excel/Outlook)2019 ➡ 29,493円(Amazon価格)
 - Office 365 Soloという選択肢もある。年間11,790円（Amazon価格）で常に最新バージョン（Word/Excel/PowerPoint/Accessなどすべての製品）を自分のPCであれば最大5台まで同時に使用できるライセンス。1TBのクラウドドライブ(OneDrive)も使える。1年単位で継続する。
- ➡そもそもOfficeが必要かも含め、自分の使い方で最も使いやすいものを選択しましょう。



おまけソフト

- 「おまけソフト」はない方が望ましい
 - 年賀状、写真整理、ゲームなど、特に富士通やNEC製パソコンにたくさん含まれています。
 - ディスク容量、メモリ容量、CPU処理を無駄に使い、処理が遅くなる原因の一つになります。
 - 本来のソフト製品の簡易版（お試し版）であることが多く中途半端。
 - 購入したら不要な「おまけソフト」はアンインストールしましょう。
- 必要なソフトは一つ一つ購入しましょう。
 - 年賀状を作成する場合は5千円以内で製品版を購入できます。
- ➡パソコンを買い替えるたびに入れ替わる「おまけソフト」は不要。できれば「おまけソフト」がないPCを選択しよう。入っていた場合は購入直後にアンインストール。

セキュリティソフト

- パソコンを購入すると、無料使用期間が設定されたセキュリティソフトがインストールされていることがほとんどですが、どうすればよい？
 - Windows10であれば標準のWindows Defenderで十分な対策が可能
 - ウィルスバスター、ノートン、マカフィーなどはそれぞれ機能が豊富、問題があった時の問い合わせ先が明確、などの利点があります。
 - しかし、一般の人がセキュリティでソフト会社に問い合わせをするということはほとんどないし、特別な機能がなくとも標準の機能で十分です。
 - Windows Defenderのマルウェア（危険を及ぼすソフト）の検出率は非常に優秀なことが検査機関により報告されている。
- ➡ 付属のセキュリティソフトはアンインストールしてWindows Defenderを有効にしましょう。（もちろん有料でセキュリティソフトを継続使用しても結構です）

実際にPCを調査してみましよう

- 自分が必要とするパソコンを絞り込みたいときに役立つサイトのひとつに「価格.com」（カカクドットコム）があります。

The image shows a screenshot of the price.com website. The main navigation bar includes the site logo, a search bar, and various filters. Below the navigation bar, there are several promotional banners and a grid of category links. A red box highlights the 'パソコン' (PC) category link. A red arrow points from this link to a detailed search page for laptops. This search page is also circled in red and contains various filters for CPU, screen size, OS, memory, SSD, HDD, and manufacturer. A red box at the bottom right of the image contains the text '実際に検索してみましよう' (Let's actually search).

価格.com バレンタイン 2020

何をお探しですか? (メーカー、製品カテゴリ、製品名、型番...)

検索

注目キーワード ツズ 空気清浄機 非接触 体温計 REGZA Z740Xシリーズ FUJIFILM X100V ADW

海外旅行で便利! Wi-Fiレンタル比較

複数の中古車サイトをまとめて検索

約30社のカードローンを徹底比較

パソコン
ノートパソコン タブレット
ハードディスク PCパーツ 周辺機器

スマートフォン・携帯電話
iPhone Androidスマホ SIMフリー
格安スマホ ガラケー ウェアラブル

自動車・バイク
新車 中古車 車用品 バイク用品
中古車査定 バイク査定 車検見積もり

保険
生命・医療・がん・学費・年金保険
海外旅行・火災・バイク・ペット保険

スポーツ
ゴルフ 自転車 釣具 サッカー 野球
スポーツウェア ダイエット

腕時計・アクセサリ
腕時計 指輪 ピアス イヤリング
ネックレス プレスレット サングラス

電気・ガス料金
料金比較 電力自由化 ガス自由化
料金シミュレーション

インテリア・家具
椅子 ベッド マットレス ソファ
カーテン パソコンデスク テレビ台

コンタクトレンズ
1day 2week 乱視用 カラーコン

家電
テレビ オーディオ 生活・調理家電
健康・美容家電 冷蔵庫 洗濯機

格安SIMカード
通話SIM データSIM スマホ代節約
MVNO 料金比較 人気ランキング

自動車保険
見積もり 高自由度ランキング
基礎知識 選び方 手続き 業界動向

クレジットカード
ポイント還元 年会費無料 ETC
ゴールドカード 海外旅行 マイル

アウトドア
キャンプ バーベキュー
寝袋 ライト 水筒

ファッション
ブランド品 財布 ノートパソコン
ハンカチ

住宅設備・リノベーション
ガスコンロ 給湯器
住宅建材 太陽光

キッチン用品
鍋 フライパン 食器
カトラリー 雑貨

ビューティー・化粧品
化粧品 コスメ 化粧

人気製品をチェック
デスクトップパソコン
自分に合うものを選ぶ
PCモニター・液晶ディスプレイ

Dellの注目!

第10世代Core&新しいデザインの...

XPS 13 プラチナ
¥153,322
CPU Core i7 10710
画面サイズ 13.3インチ

Office有り (7) 有り (65) 無し (840)

Office Home and Business (777)

Office Personal

Office Home and Business (87)

Office Home and Business (142)

Office Home and Business (3)

Office Personal

もっと見る

1015)

5)

ノートパソコンの選び方ガイドを見る

選び方ガイドトップページ

ノートパソコン スペック検索

CPU 選択しない CPUスコア 選択しない 以上 解説

画面サイズ 選択しない 選択しない インチ 解説

タブレット タッチパネル

OS 選択しない

メモリ容量 選択しない 選択しない GB 解説

SSD容量 選択しない 選択しない GB

HDD容量 選択しない 選択しない GB

ドライブ種類 選択しない

メーカー名 選択しない 価格 円以下 解説

※カンマ(,)は入力しないでください。

検索

ノートパソコンスペック検索

ノートパソコン新製品ニュース

2020.02.12